

2006年度 経営計画説明会

北海道電力株式会社

2006年4月5日

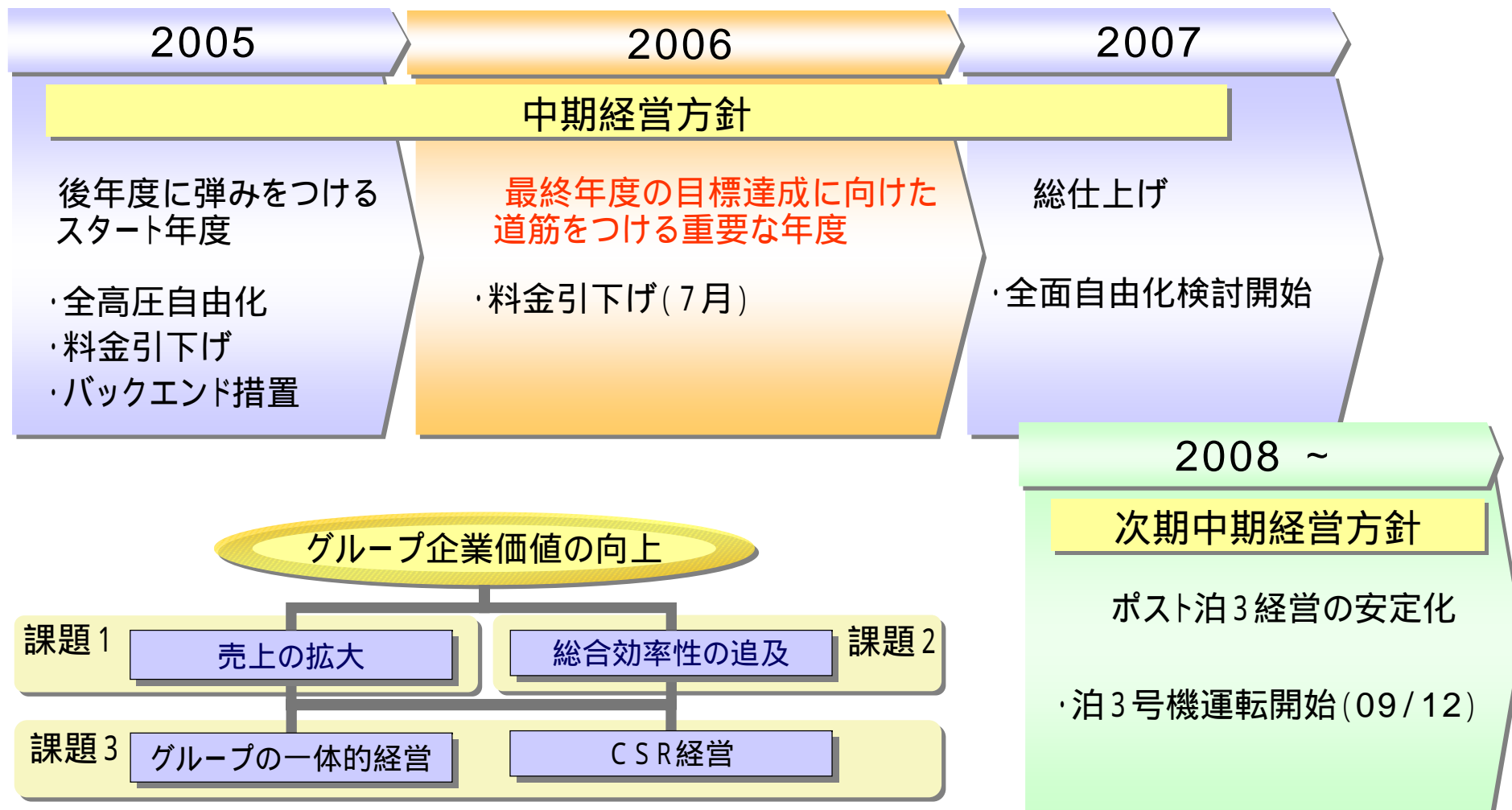
説明内容

■2006年度経営計画	2
■供給計画	4
■販売活動と事業領域の拡大	9
■効率化の取り組み	16
■グループの一体的経営とCSR経営の取り組み	20
■経営指標	22

2006年度経営計画

2006年度経営計画の位置付け

■ 中期経営方針の中間年度



供給計画

需要見通し～2006年度

■ 2005年度推定実績と2006年度計画

(上段:販売電力量,百万kWh,下段:伸び率,%)

		2004 実績	2005 推定実績	2006 計画
特定規模需要以外の需要	電 灯	11,399	11,561 1.4(0.8)	11,654 0.8(1.1)
	電 力	2,177	2,192 0.7(0.2)	2,188 0.2(0.8)
	電灯電力計	13,576	13,753 1.3(0.6)	13,842 0.6(1.1)
特定規模需要		16,616	16,876 1.6(1.3)	16,877 0.0(0.3)
合 計		30,192	30,629 1.4(1.0)	30,719 0.3(0.6)

()は気温・うるう補正後

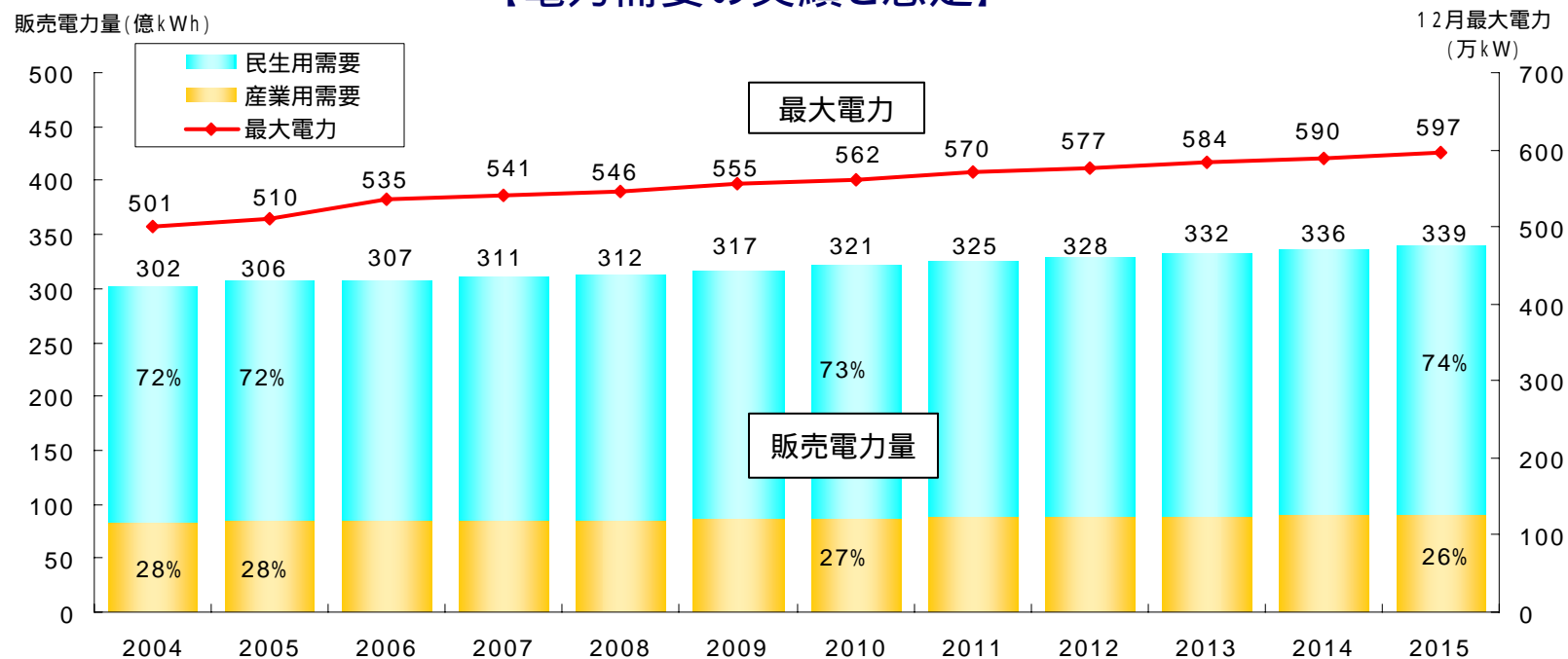
需要見通し～長期想定

■ 販売電力量・最大電力と伸び率

	2004	2005 (推定実績)	2010	2015	2004-15年 (年平均伸び率, %)
販売電力量(億kWh)	302	306	321	339	1.1 (1.1)
民生用(億kWh)	218	221	234	249	1.2
産業用(億kWh)	84	85	87	90	0.7
最大電力(万kW)	501	510	562	597	1.6 (1.2)

()は気温・うるう補正後

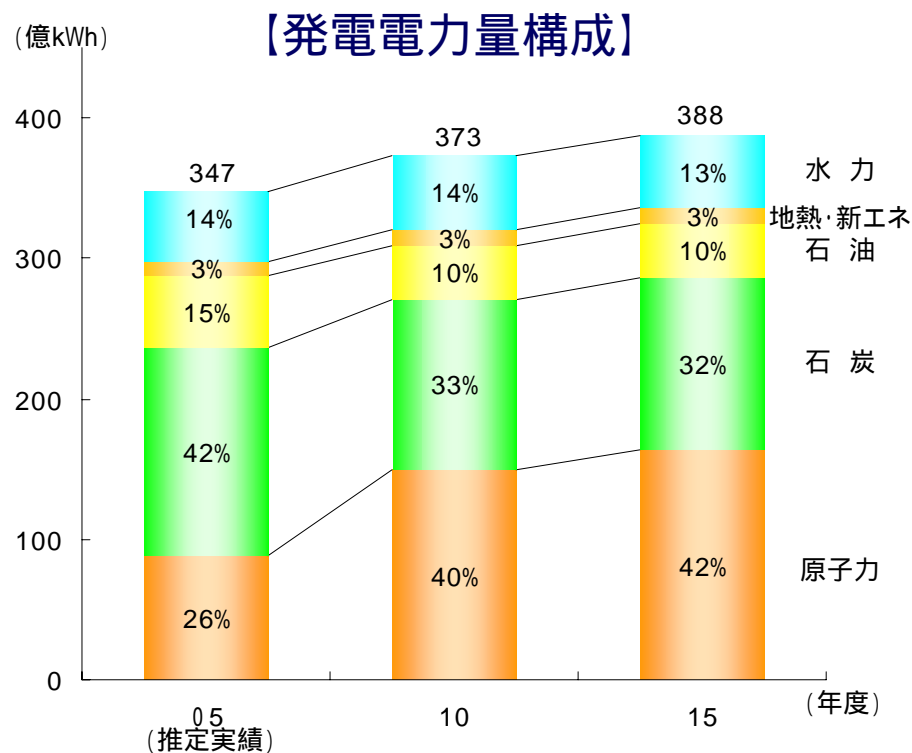
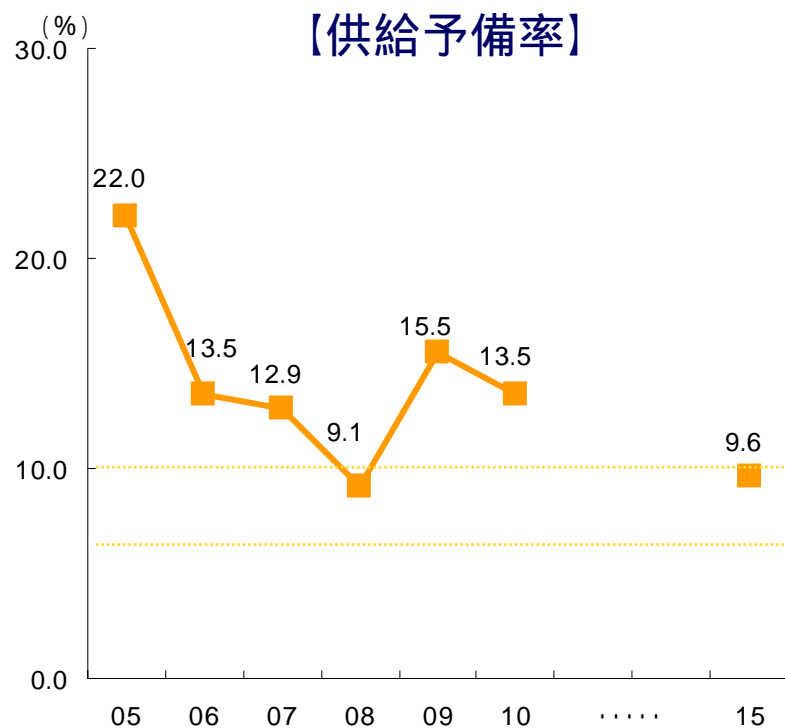
【電力需要の実績と想定】



電源開発計画

【電源開発計画】

	発電所	出力(万kW)	着工	運 転 開 始
水 力	京 極	60.0 (20.0×3台)	2001-9	2015-10(1号) 2016年度以降(2・3号)
	新 忠 別	1.0	2003-6	2006-10
原 子 力	泊 (3号)	91.2	2003-11	2009-12

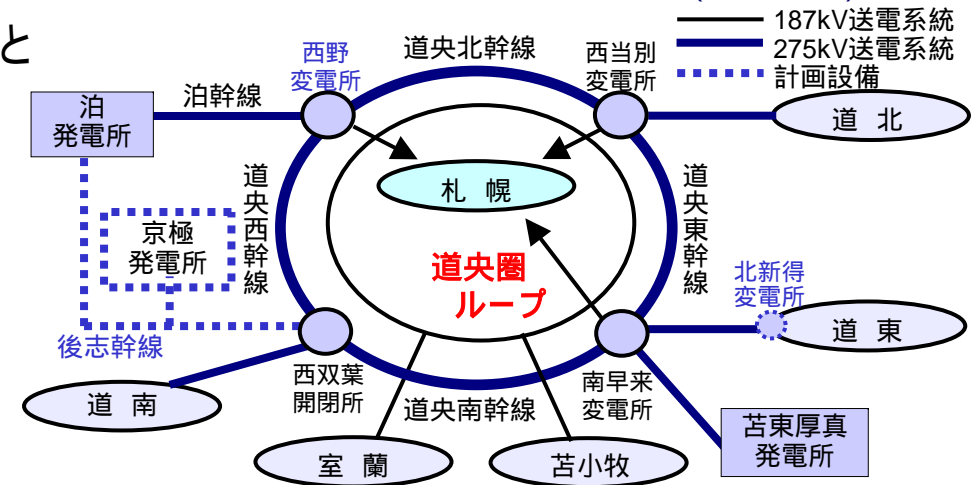


電力流通設備計画

■ 泊3号機運開に備えた道央圏を中心とした流通設備の強化

【275kV道央圏ループが完成(05.11)】

- ・泊発電所増設に伴う送電系統の2ルート化と基幹系変電所の増強
- ・需要増に伴う変電所の増強



【主要送電設備工事計画】

区分	送電線路名	区 間	電圧 (kV)	こう長 (km)	回線数	工 期	
						着 工	運用開始
工事中	後志幹線(新設)	泊発電所～西双葉開閉所	275	66	2	2003-4	2007-10

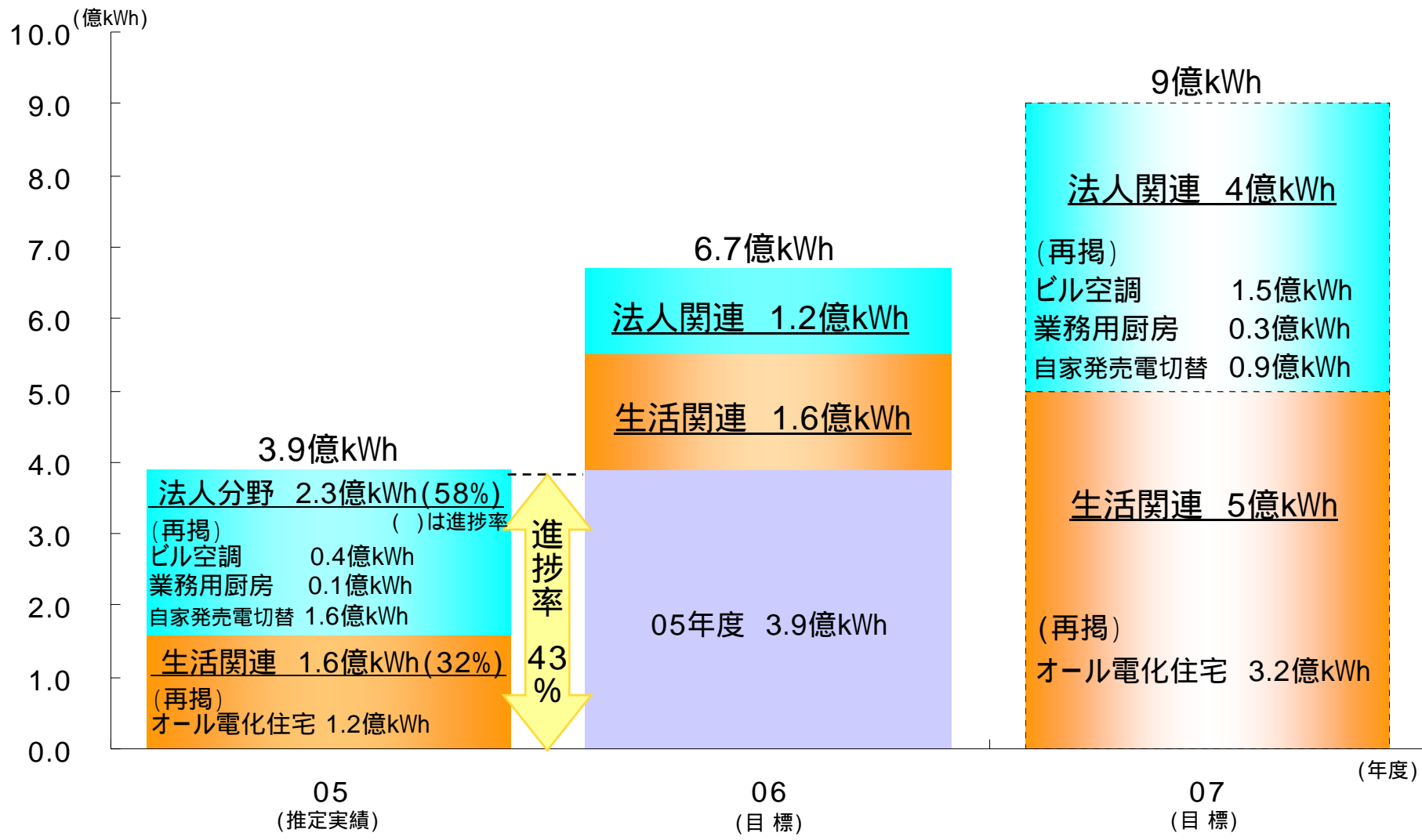
【主要変電設備工事計画】

区分	変電所名	増加出力 (MVA)	変 圧 器			工 期	
			電圧(kV)	容量(MVA)	台数	着工	運用開始
着工準備中	北新得(新設)	900	275/187/66	450/450/100	2	2006-5	2008-12
	西野(増設)	600	275/187/66	600/600/100	1	2007-1	2008-12

販売活動と事業領域の拡大

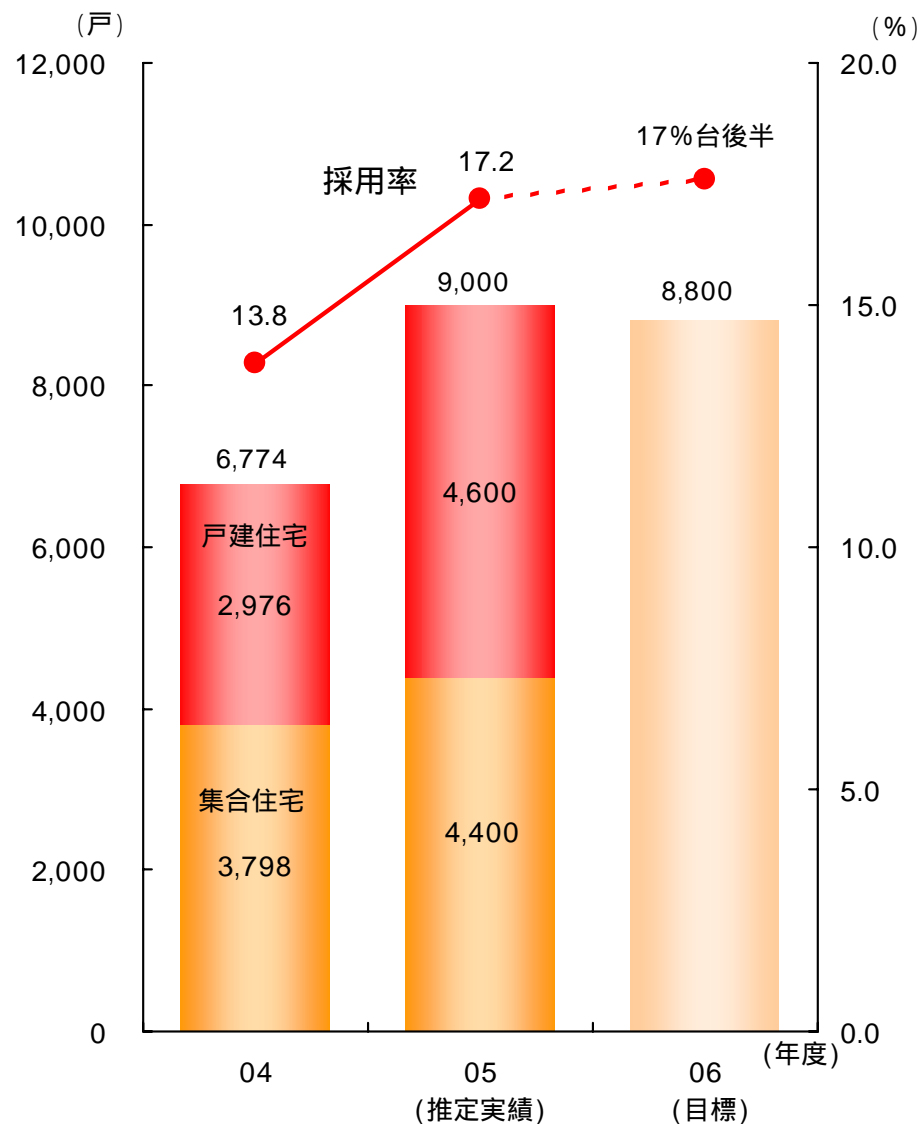
販売活動～販売目標

中期目標： 9億kWh以上の増加 (05-07年度の3年間)



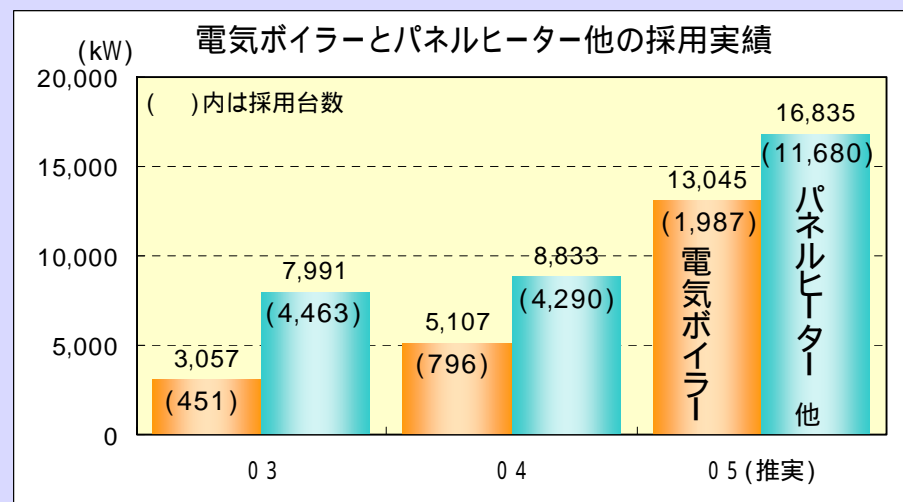
販売活動～生活関連分野 オール電化住宅

【オール電化住宅採用実績と目標】



05年度実績評価

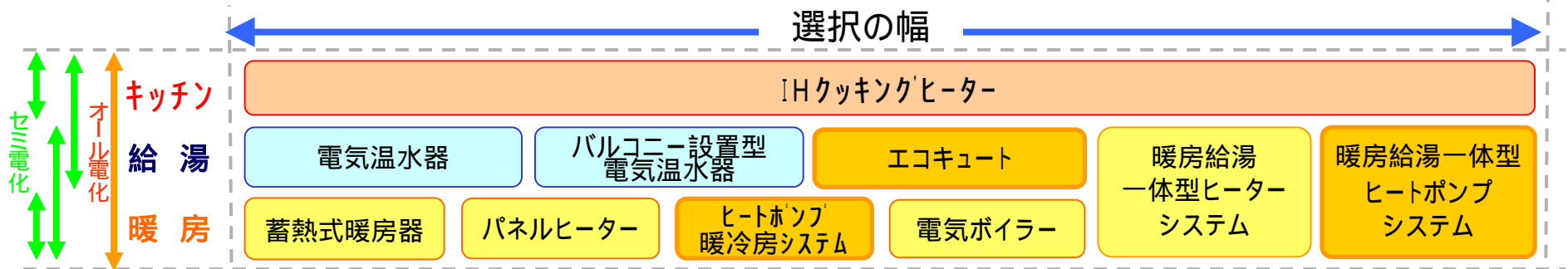
- 戸建・集合ともにオール電化実績が大きく伸張
- 電気料金引下げ(05年4月)
融雪用電力(電気暖房用)を10%程度引下げ
- 電化バリエーションの充実
(電気ボイラー、パネルヒーター、暖房給湯一体型ヒーターシステム 他)



- 大手マンションデベロッパー等へのトップセールス、ルートセールス強化
- 灯油価格の上昇

販売活動～生活関連分野

- 多様なお客さまニーズにお応えする電化のご提案

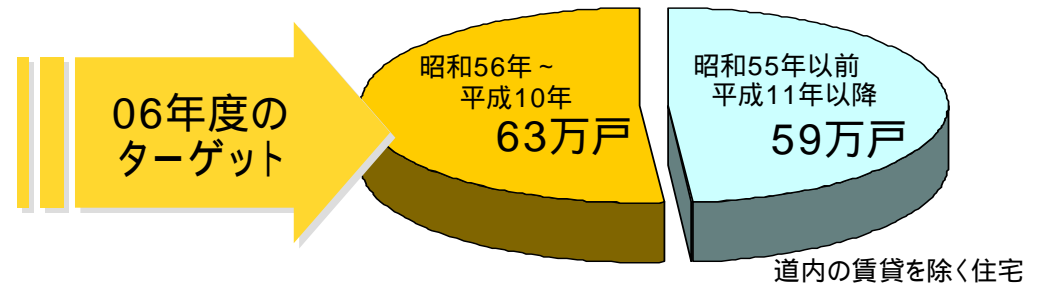


- ヒートポンプ機器の普及・開発

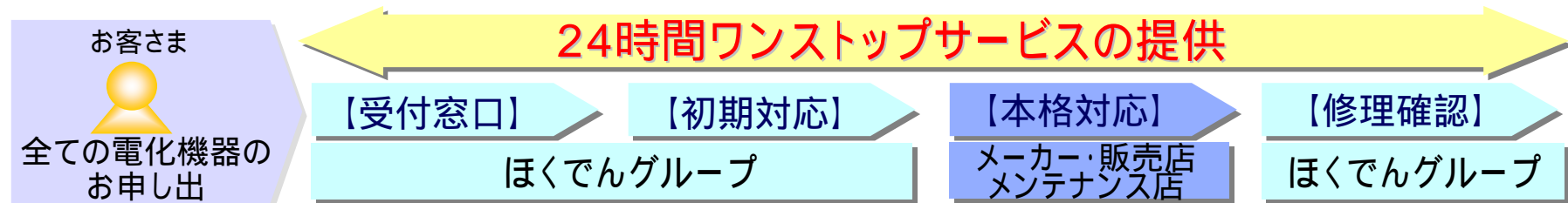
- 既存機器の06年度導入目標 320台 / 高効率・寒冷地対応型機器の開発

- リフォーム市場における電化拡大

- 販売ネットワークの構築
- コンサルティングツールの開発
- 専任組織の設置(札幌)



- アフターサービス体制の強化

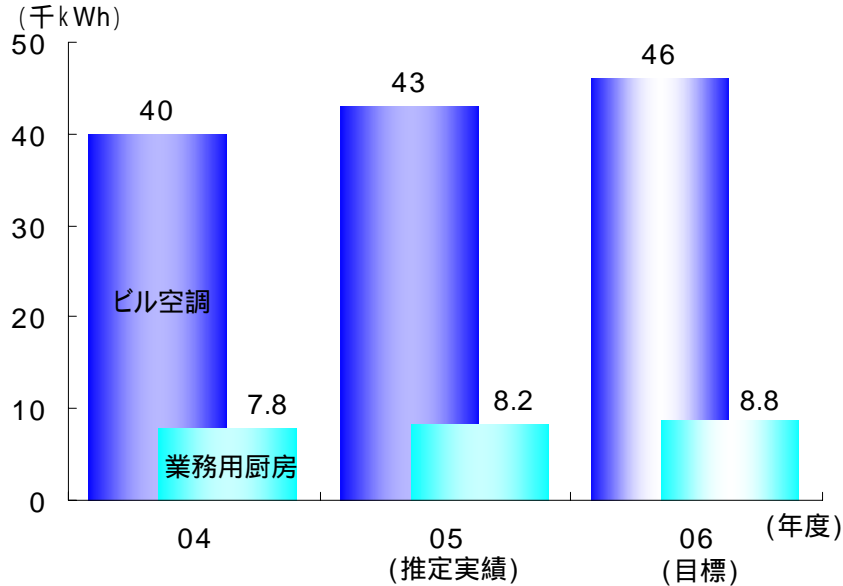


- イニシャルコストのさらなる低減

- メーカーからユーザーへの販路の簡素化等による流通コストの低減

販売活動～法人分野

■ビル空調・業務用厨房実績と目標



06年度の取り組み

- 法人電化キャンペーンの実施
- サブユーザーへの電化提案・コンサルティング活動の強化
(最適料金メニューや電化によるエネルギーコスト削減等の提案)
- 札幌都心部リニューアル物件の電化獲得活動の強化
(竣工15年以上の物件)
- 法人電化促進体制の強化 (本店体制の改変)

■自家発対抗実績と目標

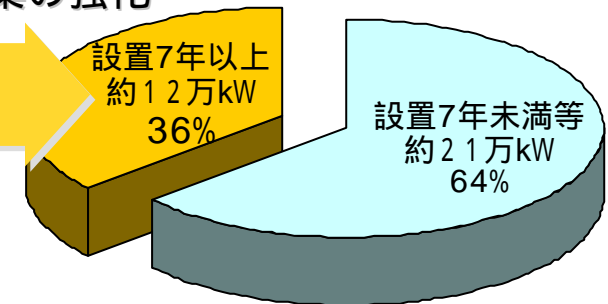
	04年度		05年度(推実)		06年度(目標)
	件数	千kW	件数	千kW	千kW
自家発 売電	47	10	96	33	9
売電 自家発	36	28	14	10	-

- 電気料金の引下げ
- 最適料金メニューのご提案
- 原油高の追い風

【高圧分野自家発設置年数構成比】

ソリューション営業の強化

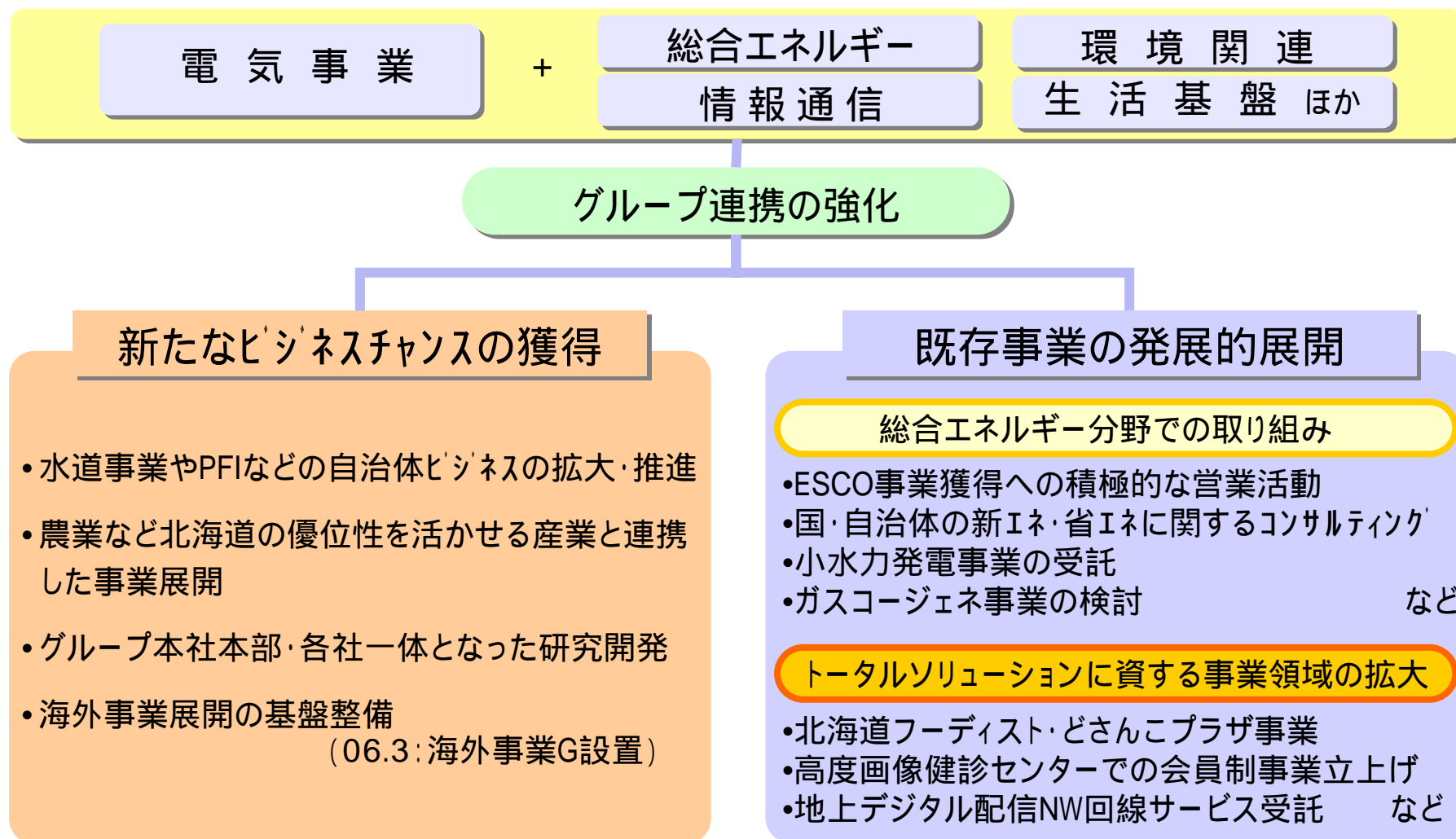
ターゲット



数値は弊社調べによる

事業領域の拡大

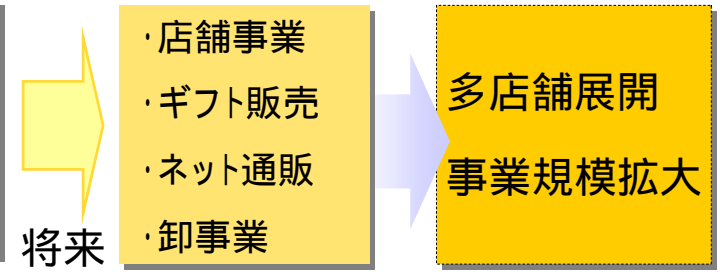
■ 新規ビジネスの発掘と発展的な事業展開の取り組み



事業領域の拡大～発展的事業展開

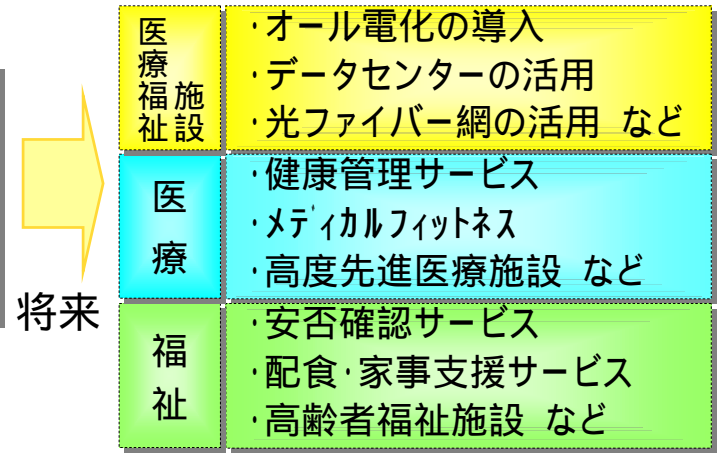
北海道道産品販売事業

北海道フードフロンティア(株) 04年7月設立
 ▶北海道フーディスト八重洲店(04年10月開店)
 東京駅八重洲口 約1000品目
 ▶北海道どさんこプラザ(05年10月開店)
 有楽町(道庁委託事業) 約850品目



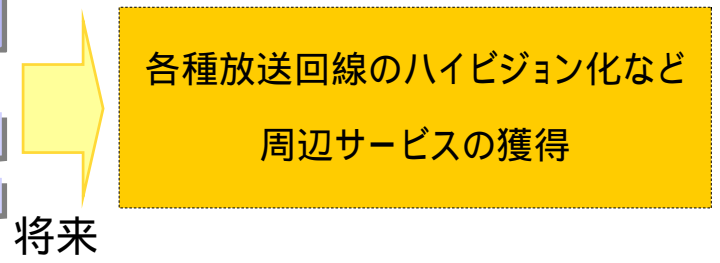
医療・福祉分野事業

健康クリエイト北海道(株) 04年11月設立
 ▶『LSI札幌クリニック』開業(05年12月)
 ▶PET検査を中心とした高度画像検査を実施する健診センターの建物・機器の設置および管理
 ▶会員制健康クラブの運営(06年度開始予定)



地上デジタル放送配信NW回線サービス

05年12月 地上デジタル放送配信NW回線サービス受注
 全国初のNTTグループ以外の通信会社での受注
 (06年6月) (札幌圏地上デジタル送出) 線路設計・工事
 07年秋 地方局地上デジタル放送開始 総合試験期間

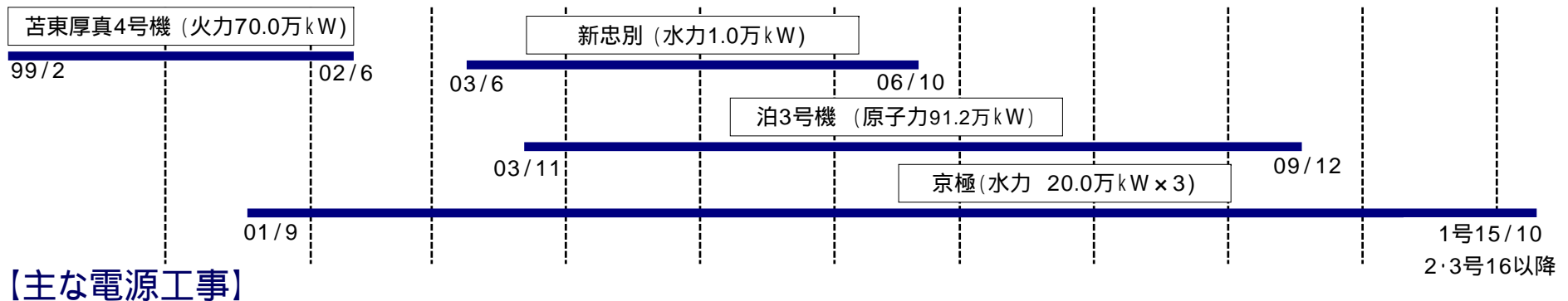
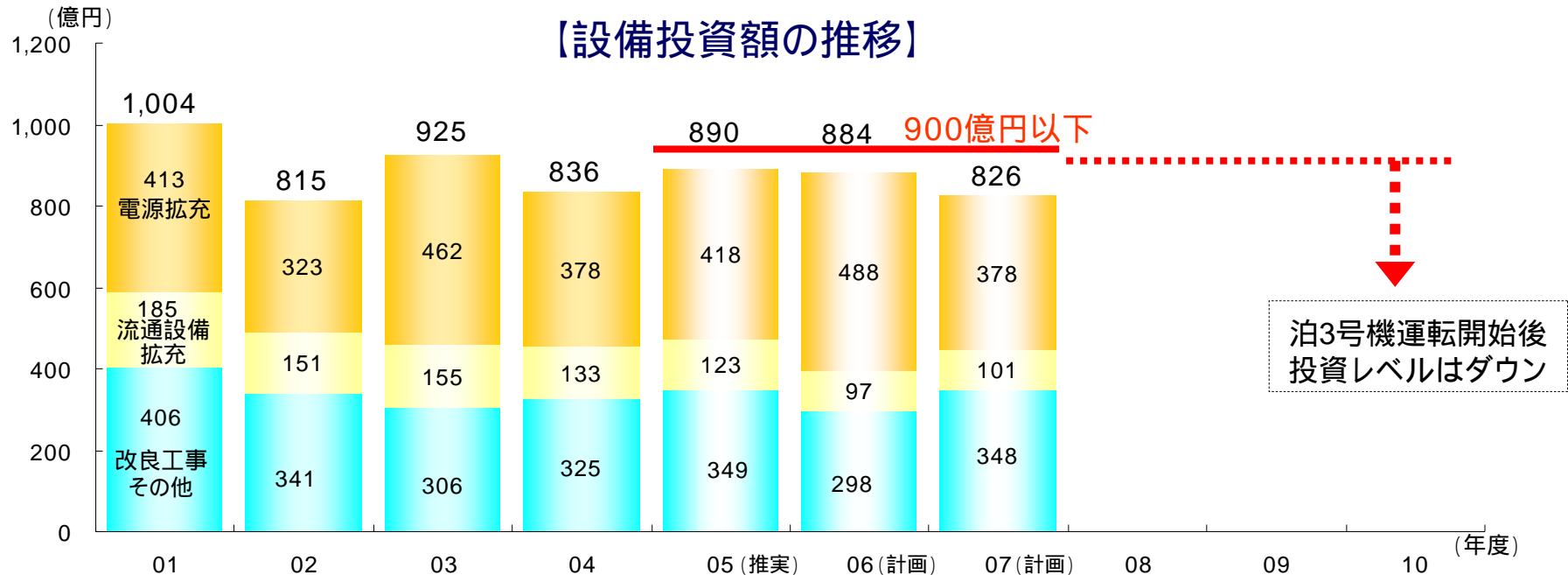


効率化の取り組み

設備投資の抑制

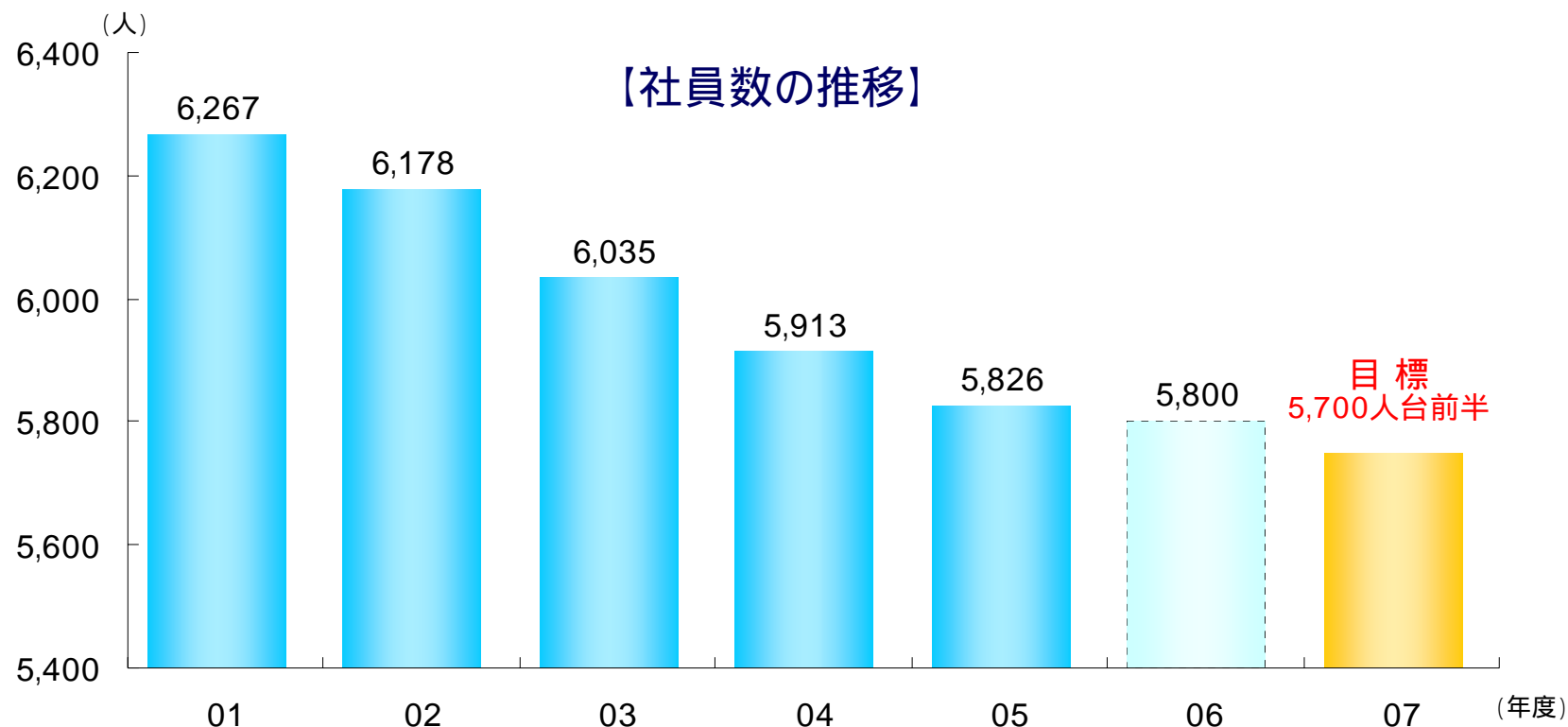
05-07年度 900億円以下を目指す

- 泊発電所3号機建設工事が本格化し、電源開発の設備投資が高いレベルで推移



要員の効率化

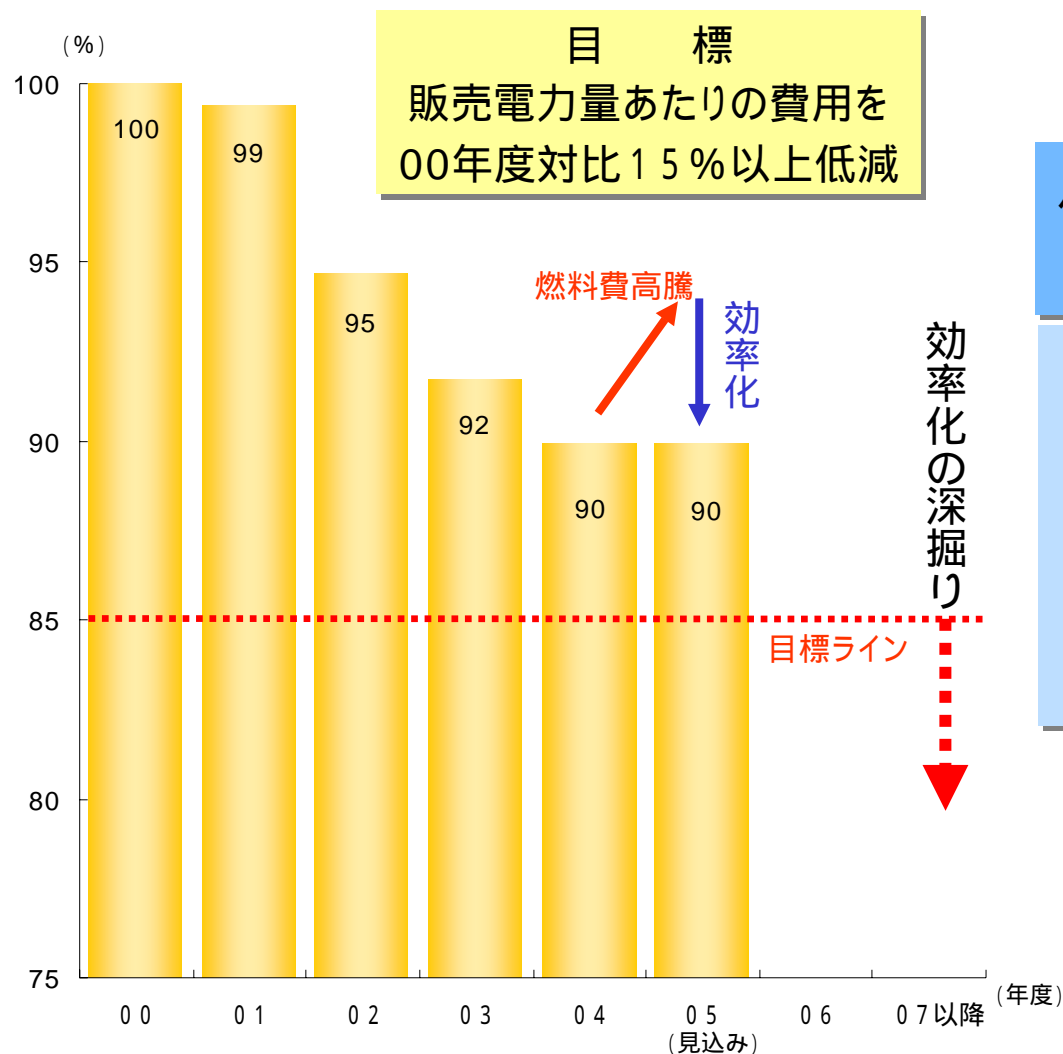
- 競争力強化，経営諸課題への対応，年齢構成のバランスなどを総合的に勘案した要員効率化



採用数(人)	61	61	48	61	71	79	100程度
退職数(人)	166	150	191	183	158	110程度	—

業務効率の向上

■ 2006年度15%向上の達成とさらなる効率化



グループ本社本部・各社が一体となった
効率化の深掘り

- ・サプライチェーンマネジメントの定着とグループ全体での成果共有
- ・シェアードサービスの導入による間接業務の低コスト化・高度化
- ・グループワイドな業務運営体制の取り組みを着実に推進

グループの一体的経営と CSR経営の取り組み

CSR経営の取り組み

これまでの取り組み

CSR経営に向けた活動の着実な展開

環境

- ・環境室設置
- ・グループ環境方針
- ・エコワーク運動

適正な企業行動

- ・企業行動委員会設置
- ・コンプライアンス相談窓口
- ・コンプライアンス行動指針

社会とのコミュニケーション

- ・電力懇談会等の
広報・広聴活動
- ・IR室設置

地域活動

- ・産業クラスター
創造活動の支援
- ・地域イベントの参加

05年6月 コーポレートコミュニケーション本部設置

06年4月 「ほくてんグループCSR行動憲章」制定

今後の取り組み

■ グループ一体となったCSRの取り組み

- 「ほくてんグループCSR行動憲章」の
グループ全体への浸透・定着
- 電気事業を中核とした透明かつ公正な事業活動

社会からの信頼確保

+

企業価値の向上

経営指標

経営指標

指 標		目 標	見通し		
			05年度	06年度	07年度
ROA (総資産営業利益率)	連結	4.5%以上 (05-07年度平均)	4.2%程度	06年7月に料金引下げを実施したうえで、目標達成を目指す	
	単独		4.2%程度		
株主資本比率	連結	30%以上 (07年度末)	29%程度	着実に目標達成を目指す	
	単独		29%程度		
有利子負債残高	連結	7,200億円以下 (07年度末)	7,410億円程度	料金引下げはあるものの、 目標達成を目指す	
	単独	7,000億円以下 (07年度末)	7,140億円程度		

本資料は2006年4月4日現在のデータに基づいて作成されております。また、証券取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境に関する前提条件の変化などに伴い変化することにご留意ください。また、あくまで当社の経営内容に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。本資料の利用については他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行ってください。また、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

お問い合わせ先

北海道電力株式会社
コーポレートコミュニケーション本部
IR室 岩坂, 岩井, 阿地
〒060-8677
札幌市中央区大通東1丁目2番地
TEL : 011-251-4833(ダイヤルイン)
FAX : 011-222-4461
URL: <http://www.hepco.co.jp>